

令和7年度 学校評価報告書

丹波篠山市立城南小学校
校長 中野 純也

1 学校教育目標等

夢をもち、心豊かにたくましく生きる城南っ子の育成
～大好き自分、大好き仲間、大好き城南～

2 今年度の重点目標

- ・安全で安心して学べる教育環境づくり
- ・生徒指導における協働体制の確立
- ・豊かな人間関係や人権感覚の育成
- ・確かな学力の定着を図る
- ・地域とともにある学校の推進
- ・働きやすい職場づくり

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全管理	効果的な安全点検	A	教職員による定期的な施設設備の点検では、毎回、点検個所を変更した。学校運営協議会委員による危険個所の点検をした。
	教職員・児童生徒の安全対応能力の向上	B	年3回避難訓練を実施した。職員の不審者対応訓練は、学校以外の関係者の参加のもと実施し、関係者間で理解が深まった。
生徒指導	生徒指導体制の構築	A	月例で生徒指導委員会を開催し、児童の状況の情報共有を行い、対応についても協議した。必要に応じて臨時で開催した。
	保護者や地域社会、関係機関との連携協力	B	発生した事案に対して保護者やSCと連携を行った。民生委員と地区担当教員とが情報共有をした。保護者・地域の方に登下校の児童見守りをしていただいた。
学習指導	「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」へ導く授業の工夫	A	県指定の研究事業を受け、校内で授業研究や教員の資質向上研修を行った。来年度の研究発表会に向けた方針を立てた。
	I C Tを活用した学習活動の工夫	B	主体的に調べたことをまとめ、発表する際にI C T機器を活用した。機器にふれる段階を超えて効果的に活用をしていく。
地域とともにある学校	地域教材の活用によるふるさと教育の展開	B	城南校区の川、田圃、畑、公共の建物等から地域について学んだ。地域教材の開発を行いふるさとの学びを充実させる。
	学校運営協議会主催事業の実施	A	人形劇鑑賞により、児童の情操を豊かにした。今後とも、文化や芸術等の分野において本物にふれる機会を設ける。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・安全な学校となるよう、取り組んでいる。不審者対応訓練も具体的で実践的な訓練であった
- ・学校家庭地域における約束やルールについて、発達段階に応じた指導が積み重ねられている。
- ・先生方が児童と向き合って学習指導に取り組んでいる。学習につまずきがある児童を丁寧にみてほしい。
- ・ICTの活用について、今後「情報を読み解く」ことが大切になる。指導をお願いしたい。
- ・自己有用感、自己肯定感、児童素因勘定を育てる指導がされているが、児童の自尊感情、自己肯定感が低いようである。家庭でもふりかえりや小さな成功体験をすることができればと思う。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・授業では、グループ・ペア学習が取り入れられており、児童相互の情報発信と受信の取組ができています。
- ・友だちにやさしく接することができる児童が多い。学校教育活動全般を通じた取り組みになっており、相互理解力が育てられている。
- ・責任をもって行動できている児童が多い。これは、先生方が1つ1つの行動の価値を丁寧に伝え、次の行動へつなげているからだと思う。
- ・「体験に勝る教育なし」です。可能な限り子どもたちに体験をさせていやってほしい。特に地域の自然や四季の移り変わりが体験できるような取り組みをお願いしたい。
- ・あいさつは自然とできるのがよい。あいさつする意義や目的を教え、子どもたちに意識づけ、意欲づけを根気よくしてほしい。
- ・子どもたちが元気に楽しく、けがや事故なく通えることが一番である。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none">・ICTの活用については、ネットを使った犯罪も増えている。発達段階に応じた活用能力の育成と同時に人権の視点を意識した指導も必要である。・ICTを活用して調べることも大切であるが、本や辞書で正しい知識を調べることも大切ではないかと感じる。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・家庭では、丁寧な言葉遣いができていない印象がある。年配や年上の方と話す機会も少なくなっている。正しく丁寧な言葉遣いの指導については、学校だけではなく、家庭での指導も大切だと思う。・自己有用感、児童が主体的に取組課題を解決する経験を積むことによって育成される。個々の児童に応じた課題設定をして解決できる経験を増やしていく必要がある。児童会活動等、子どもの活動を大切にすることも考えられる。
地域とともにある学校	<ul style="list-style-type: none">・学校園だより、ホームページにより、家庭をはじめ地域社会に学校教育活動の情報を発信している。今後、避難訓練や学校の施設設備管理や感染症対策などについてもそのねらいとともに様子を伝えていく必要がある。・学校、家庭、地域には、それぞれの役割がある。学校では学力をつけてほしい、家庭に帰れば、家庭や地域で子どもをみる。このように多岐にわたる立場が協力するべきである。